

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和6年2月26日

事業所名 フレデリック由布 保護者等数（児童数） 21 回収数 21 割合 100.0%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	○				
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	○			個性の強い子ども達を怪我なく見れているのはすごく尊敬します。スタッフの配置や、力量が工夫されていると感じます。	引き続き、一人ひとりの児童の特性を把握し、適切な支援が行えるよう環境設定に努めて参ります。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	○				
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	○				
	5	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	○			毎日の活動が親と子どもにわかりやすく、意図も読み取りやすいです。 1ヶ月の予定を配布してくれたり、子供達と話し合っ て活動内容を決めるのはとてもいい取り組みだと思 います。	利用者様のご要望にお応えできるよう に、活動プログラムを職員間で熟慮し 計画、毎月月間プログラム表を作成し 配布し保護者様との情報共有を今後と も継続していきます。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○			児童クラブを併用していま す。近所の方とは交流があ るみたいですが、障害がな い子供との交流はあまり聞 いていないので、ぜひ取り 組んで欲しい。	地域の不登校サークルにも参画しなが ら、地域交流に努めています。今後 は、新たに保育所、幼稚園、学校の児 童クラブ等と発達の有無に関わらず、 地域の様々な人と関わることができ るように提供内容や方法を考えていきま す。
保護 者へ の	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	○			面談の場を設けていただ いております。	必要に応じて面談で相談を受けたり、 保護者様のご都合や心身の状態に合 わせてSNSを活用するなど柔軟に対応 していきます。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	○			面談の場を設けていただ いております。	利用者様のご要望にお応えできるよう に、活動プログラムを職員間で熟慮し 計画、毎月月間プログラム表を作成し 配布し保護者様との情報共有を今後と も継続していきます。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	○				

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
説明等	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		○		行事で親子参加など企画がされているので交流の機会は設けられていると感じます。	父母の会については保護者様のご意見をふまえて、開催方法など慎重に進めていきたいと思っております。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			対応はいつも丁寧だと感じます。	どの職員も迅速丁寧に保護者に適切に相談援助や助言等できるように、個別相談体制を整えていきます。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	○			対応はいつも丁寧だと感じます。	どの職員も迅速丁寧に保護者に適切に相談援助や助言等できるように、個別相談体制を整えていきます。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	○			ご丁寧な連絡ノート、写真から説子どもに変わって、1日何したか把握できるため毎回ハグで写真付きで活動内容の報告を詳細にさせていただけるのでとてもありがたく安心です。	必要に応じて面談で相談を受けたり、保護者様のご都合や心身の状態に合わせてSNSを活用するなど柔軟に対応していきます。
14 個人情報に十分注意しているか	○					
常時等の対	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	○				
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	○				
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	○			いけない日は泣くほど悲しいみたいです。先生方や他の利用者さんとの関わりは楽しいようですが、利用する日の環境によっては行き渋る事があります。	引き続き、お子様が事業所にて成長、発展できるように一人一人の資質向上に努めて最善の幸福が実現できるように知恵を絞ってまいります。
	18 事業所の支援に満足しているか	○			利用した日の様子も送迎時に話をしてくれたり、可愛い写真も送ってくださるので感謝しています。	今後、皆様が安心してご利用いただけるように、ご要望にお応えできるよう体制構築に努めて参ります。
送迎対応	19 送迎は正しく行われているか	○			ご迷惑をおかけすることもあります。急な変更にも対応して下さりとてもありがたいです。	送迎トラブルのないように送迎対象者、時刻や場所等の確認、点呼や荷物忘れ皆無を目指します。抜かりのない車両整備を徹底し、安全運転を心掛けてまいります。
運動療育	17 運動療育は役に立っているか	○				
	18 今後やってほしい療育はあるか	○			引き続き、子どもの個性に合わせた対応をしてほしいです。自己紹介や人前で話せることに自信が持てるようになって欲しいです。鉄棒などの体の使い方についての療育を行なってほしいです。また、声の大きさの調整が難しいので集団の中で意識ができるようにしてほしいです。	引き続き子どもの最善の利益を考慮し、人権に配慮した支援を行うために、子どもの支援に相応しい職業倫理を基盤として職務に当たって参ります。具体的には、子どもの発達過程や特性、適応行動の状況1を理解した上で、コミュニケーション面で特に配慮が必要な課題等も理解し、一人ひとりの状態に即した放課後等デイサービス計画（＝個別支援画）に沿って発達支援を行ってまいります。